

## 絶滅危惧種、カワバタモロコについて

石井柗平・田中 敦・津村美沙紀・増田葉月・松本泰平・森田陽介  
(兵庫県立三田祥雲館高等学校 1年)

ビオトープに生息するカワバタモロコの増殖傾向についてキリンビール神戸工場のビオトープで田中哲夫先生監修のもと調査を行った。カワバタモロコの推定個体数は2947匹と2002年の放流時241匹と比べると、個体数がとても増加していることなどがわかった。

**はじめに**  
カワバタモロコとは、コイ目コイ科カワバタモロコ属の生物である。現在、日本では絶滅危惧種に指定されている。

**ビオトープ池とは**  
人工的に形つくられた池の形態をより自然に近い形に模倣し、自然の生物を復活させることを目的とした池のこと。キリンビール神戸工場ビオトープ池では2002年5月にカワバタモロコ241個体が放流された。それ以降、毎年標識再捕法によって増殖率を調査している。

**調査方法**  
1. トレイに魚が呼吸できる程度の水を張った。  
2. 魚を数匹いれて、麻酔薬を注射針で入れた。  
3. 魚の標準体長をはかった。  
4. ホイントごとに決められた、魚の標識の部位を切断した。  
5. 切断後、麻酔薬が入っていない水のいったバケツに移し、蘇生させた。

種別	A地点	B地点	C地点	D地点	E地点	合計
a	33	2	0	0	12	
b	5	4	5	0	12	
c	3	1	44	0	14	
d,e	8	6	2	0	77	
不明	0	1	0	0	0	
標識数	49	14	51	0	115	

**はじめに**  
カワバタモロコとは、コイ目コイ科カワバタモロコ属の生物である。現在、日本では絶滅危惧種に指定されている。

**ビオトープ池とは**  
人工的に形つくられた池の形態をより自然に近い形に模倣し、自然の生物を復活させることを目的とした池のこと。キリンビール神戸工場ビオトープ池では2002年5月にカワバタモロコ241個体が放流された。それ以降、毎年標識再捕法によって増殖率を調査している。

**推定個体数を求める式**  
池全体の数 = ひれを切った数(標識魚) × 2回目に採れた総数 / 2回目に採れた標識魚

表1 今年の結果(小数第一位を四捨五入)

	A地点	B地点	C地点	D地点	E地点	合計
1回目	199	165	210	45	211	830
2回目	307	60	141	16	289	813
確認	49	14	51	0	115	229
推定	1247	707	581		530	2947
標識数						
求めた推定個体数	2947匹		信賴区域 ±275匹			

**<ヒレきり方法>**

カワバタ 標識切り位置

1. トレイに魚が呼吸できる程度の水を張った。
2. 魚を数匹いれて、麻酔薬を注射針で入れた。
3. 魚の標準体長をはかった。
4. ホイントごとに決められた、魚の標識の部位を切断した。
5. 切断後、麻酔薬が入っていない水のいったバケツに移し、蘇生させた。

表3 生息地域の変化

種別	A地点	B地点	C地点	D地点	E地点
a	33	2	0	0	12
b	5	4	5	0	12
c	3	1	44	0	14
d,e	8	6	2	0	77
不明	0	1	0	0	0
標識数	49	14	51	0	115

**【考察まとめ】**

- ・推定個体数は2947匹と求めた。表2より02年の放流時241匹と比べると個体数がとても増加している。
- ・これはビオトープ池にカワバタモロコが天敵が少ない、生息していないためだと考えられる。
- ・表3よりカワバタモロコのビオトープ内での生息地域はあまり変化しないことが予想される。